

コスモス男山 2025年度 第3回運営推進会議報告

日 時： 2025年9月8日（月）13時30分～15時00分

場 所： おいでやすコスモス103

出席者				内容
利用者家族	1名	地域住民・代表者	3名	1.現況報告（資料①）
包括支援センター	1名	合計	8名	2.前回会議以降の活動と今後の予定(資料②)
高齢介護課	2名	欠席者	2名	3.意見交換
介護事業に	1名	職員	3名	
知見を有する者		(理事長・所長・事務局長)		* 次回は11月17日（月）13:30~15:00予定
1.現況報告	資料①に沿って、所長が説明			
	・通いと訪問で、増減しているのは、入退院があった為。			
	・相談件数3件（2件が利用に繋がった）			
2.前回以降の活動と今後の予定	資料②にそって、事務局長が説明			
質問	・利用者が減ってきているのに、定着率が良い職場で職員を募集するのはなぜか➡利用者が減っても職員の手間は増えているし、介護職が1人転居するので、募集する。			
質問	・カスタマーハラスメントの研修をやられたとのことだが、実際にあったことはあるのか➡これまでは幸運なことに全くなかった。初めて利用者さんからのハラスメントを経験。これからを見据え、皆で共有しながら学んでいこうという、研修をした。			
3.意見交換				
意見	・「人のさいご」という本を読んで、内容は重たいと感じるが、絵が綺麗で読みやすい。研修を受けられた様子を伺いたい。			
意見	・求人も、ほぼかけないとの事から、会議等で職員どうしのコミュニケーションもとれているとわかる➡食事時や現場でも情報交換を日頃から行い、互いに信頼関係もあり家族の様である。			
意見	・カスハラについて、基本的な信頼関係が結べていればよいのですが。			
意見	・カスハラは、介護現場では特に増えてきている。認知症ゆえの言動もあり、線引きが難しい。			
意見	・現場では傷つくことがあると思う。皆さんの大変さは想像できかねる程である。			
意見	・カスハラについて、「認知症」で片づけることができないと思い向き合っている。地域でも顔の見える関係をつくることで、今後も活動に繋げたい。			
意見	・利用者の相談が3件あり、2件の利用に繋がる報告がうれしかった。			
意見	・カスハラの研修を行ったことは、よかったと思う。自身も研修を受けたことがある。対応は、一致団結して共通理解をすることが大事だと記憶している。			
意見	・知り合いが孤独死された。2か月前に会ったが、人の命はあっけないと思う。「人のさいご」の職員研修をされるとの事。「ターミナルケア」と言わず、タイトル「人のさいご」は、人生という気がして良いと思う。			
意見	・以前ほかの事業所へ通っていた。そこでの対応がよくなかったのではとの思いがある。帰宅すると表情がこわばり、蹴る、叩く様子。そこの通所をやめ、コスモス男山への通所を希望し今に至る。家での会話が通じないのに、コスモス男山では会話が出来ていると連絡帳に書いてある。どうしたら会話ができるのか(笑)			
意見	・コーチング研修を受けたことがある。肩に手を置き、口で案内をし危険なところを歩くのだが、その時感じた事は、信頼関係の大切さである。			
意見	・コスモスでは、介助が丁寧である。家に帰ると自分に頼りきりになる。怪我してもよいので優しくしないでほしい。➡散歩に出た時、こけそうになった。利用者さんは怪我無く済んだが、かばった職員が怪我をするという事案があった。それからは、より丁寧になった。様子を見ながら工夫します。			
意見	・他の施設で、母の介護中、朝になるとデイサービスに行かないと言う。話を聞くと「ある男性職員が嫌だ」と言う。母にはセクハラに感じていたのか？担当を変えてもらおうと、行くようになった。			
	・「コスモス男山」がまだ知られていないので、利用者増のためにチラシをみんなで手分けして撒いてはどうか。自分はすでに1000部ほど撒いた。			